

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月09日

計画の名称	安全安心な生活環境の実現（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	新居浜市												
計画の目標	台風等豪雨時における浸水被害の軽減を図るため、効率的に公共下水道雨水施設を整備する。 また、東南海・南海地震の発生が懸念されるなかで、効率的に下水道施設の老朽化対策、地震対策を実施し、安全安心な生活環境の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,695	A	3,691	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.1	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29末)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を向上させる。 都市浸水対策達成率 10年に1回の降雨に対して対策済みの面積（ha） / 浸水対策が必要な面積（2,538ha）	16%	17%	18%
2	処理場において、緊急に地震対策が必要な施設の対策実施率を向上させる。 処理場における地震対策実施率 対策実施済施設数 / 緊急に対策を実施すべき施設数	0%	100%	100%
3	下水道施設のストックマネジメント計画を策定し、雨水ポンプ場における長寿命化対策実施率を向上させる。 雨水ポンプ場における長寿命化対策実施率 対策実施済施設数 / 対策が必要な施設数	0%	33%	33%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・愛媛県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A07-001、A07-002、A07-003、A07-004、A07-005、A07-006、A07-007												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠（ 雨水）	新設	雨水管渠（新居浜排水区 ）	管渠布設 L=4.0km	新居浜市						917	-	
	A07-002	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠（ 雨水）	新設	調査設計	管渠設計	新居浜市						100	-	
	A07-003	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	ポンプ 場	新設	沢津雨水ポンプ場	沈砂池	新居浜市						454	-	
	A07-004	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	ポンプ 場	改築	江の口雨水ポンプ場外4箇 所（長寿命化）	電気計装設備等	新居浜市						532	策定済	
		下水道長寿命化計画																	
	A07-005	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	ポンプ 場	改築	江の口雨水ポンプ場外4箇 所（ストックマネジメン ト）	電機計装設備等	新居浜市						1,075	策定済	
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-006	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	終末処 理場	改築	新居浜市公共下水道（総 合地震対策）	機械棟、管理棟、ポンプ棟 駆体補強、マルチ化整備及び 設計	新居浜市						513	策定済	
		新居浜市下水道総合地震対策計画																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	ポンプ場	改築	調査設計	雨水ポンプ場耐震調査設計	新居浜市						100	-	
											小計						3,691		
											合計						3,691		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠（	-	新居浜市公共下水道（総 合地震対策）	マンホールトイレ用資材整備	新居浜市						4	-	
		大規模災害発生時にトイレの機能を確保するため、避難所にマンホールトイレを整備する。																	
											小計						4		
											合計						4		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	413	210			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	413	210			
前年度からの繰越額 (d)	0	236			
支払済額 (e)	177	339			
翌年度繰越額 (f)	236	107			
うち未契約繰越額(g)	56	8			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	13.55	1.79			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	当初見込んでいた事業が延期や中止されたため				

事前評価チェックシート

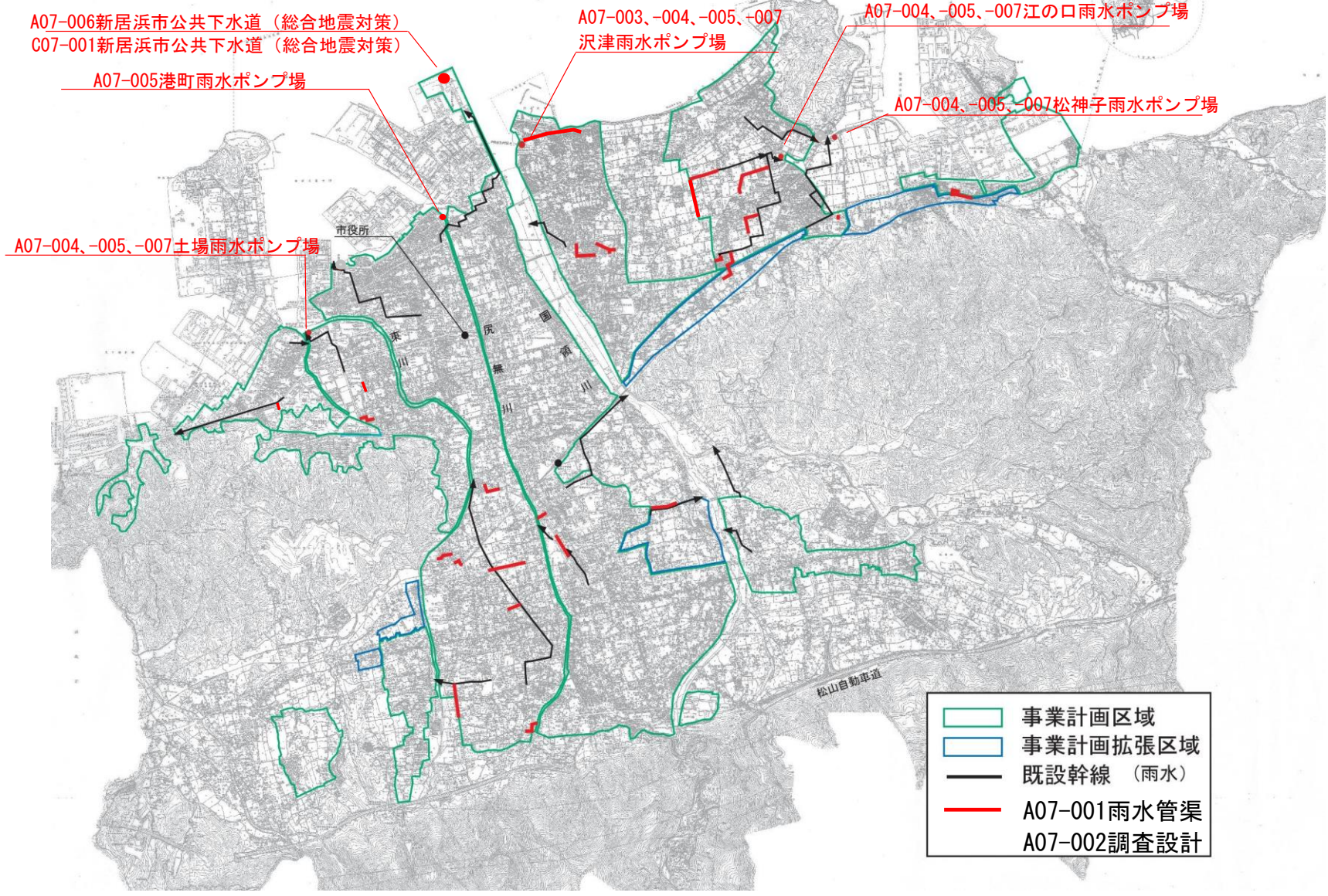
計画の名称： 安全安心な生活環境の実現（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。	
I. 目標の妥当性 1) 社会資本整備重点計画、愛媛県全域下水道化基本構想等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 総合計画、環境基本計画、都市計画マスタープラン等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域課題（定住促進、安全・安心の確保等）を踏まえた目標設定となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 広域的観点から、整備地区の位置づけが行われている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標（数値目標）の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画について住民等との合意形成ができている。	○

事前評価	チェック欄
III.計画の実現可能性 2)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III.計画の実現可能性 地元の熱意	
III.計画の実現可能性 1)事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
III.計画の実現可能性 2)継続的な事業の展開が見込める。	○

計画の名称	安全安心な生活環境の実現（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	新居浜市

新居浜排水区計画図



- 事業計画区域
- 事業計画拡張区域
- 既設幹線（雨水）
- A07-001雨水管渠
- A07-002調査設計